

ひび挑戦!

この4年間で、本会議・委員会を合わせ50項目以上の質問を行いました。主な項目について以下に示します。(詳細はホームページにてご覧いただくと幸いです)

産業政策

自動運転、介護ロボット支援、産業空洞化対策減税基金 等

雇用労働

中小企業の人材確保、働き方改革推進、建設業担い手促進 等

健康

健康経営、アレルギー対応、産後ケア 等

福祉

保育士確保、介護者支援、障害者差別解消法 等

教育

キャリア教育、盲学校の実践的教育、教員の多忙化解消 等

環境

イノシシ対策、あいち森と緑づくり事業、PCB廃棄物処理 等

地域振興

愛知環状鉄道ICカード化、リニモ沿線活性化、ラグビーワールドカップ 等

交通安全

歩行者保護対策、交差点改良、危険ドラッグ取締 等

防災

大規模災害時の警察活動、防災ヘリコプター、保安林の管理 等

その他

消費者トラブル防止、投票率向上、戦争に関する資料館の運営 等



自動運転の実証実験



今月から愛知環状鉄道でICカードが利用できます



小学校前に信号を設置し、交通安全指導を実施



大村知事と

ひび挑戦!

「政治は私たちの生活に非常に身近な存在である」

平成23年、私はこの想いを胸に愛知県議会議員選挙に挑戦し、以来、みなさまからの温かいご支援の下、約8年、議員として活動をさせていただきました。

今般、3度目の挑戦をする決意をここに表明させていただきます。昨今、国会、地方議会問わず、議会および議員の信用が失墜し、政治への無関心が広がっているように感じます。しかし「私たちの生活」と「政治」は決して無関係ではられません。

初心を忘れず、これまで同様「過去に学び未来へつなげる」思いで、時代を切り拓きたい。そんな気持ちで燃えています。

ひび挑戦! 初心を忘れず、これからの戦いに挑みます。



下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

住所 春日井市庄名町2-7-8

電話 0568-29-4503

FAX 0568-29-4504

HP <http://www.hibi55.com/>



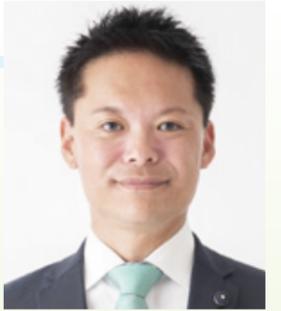
2月定例会開催

愛知県議会2月定例会は2月25日から始まり、「日本一元気な愛知」の実現に向けた平成31年度一般会計予算案(2兆5,124億円)や、県庁組織の見直しなど62議案を3月20日に可決承認し、閉会となりました。

また、豚コレラへの早期対応を始めとした平成30年度補正予算案、さらには児童養護施設入所児童等の自立支援や子ども食堂への支援のための「子どもが輝く未来基金」の設置など27議案についても会期中に可決し、合わせて89議案を可決承認しました。

来年度予算については、2月に行われた愛知県知事選挙において3期目の当選を果たした大村知事が、選挙戦を通じて訴えられた「愛知が先頭に立って東京一極集中にストップをかけ、日本の成長を力強くリードしていく」との思いが込められており、ジブリパークの実現・リニア大交流圏の形成・産業首都あいちなど、12の柱立てから編成されています。

なお、本議会が任期中最後の定例議会となりました。今後も皆様のご期待に応えるべく、しっかり活動してまいります。



代表質問 高橋 正子 団長(一宮市選出 4期)

行政改革

《Q》 知事の公約でもある「しなやか県庁創造プラン」の成果と今後の取り組みは?

《知事》 第5次行革大綱で1,279億円の行革効果をあげた。これまで進めてきた愛知総合工科高校専攻科の公設民営や有料道路コンセッションなどの民間活力導入に加え、今後より一層、効果的・効率的な行財政運営を実現するため、県庁組織を再編する。さらにAI・ロボティクスを活用した業務改革にも取り組む。

観光振興

《Q》 愛知デスティネーションキャンペーンの成果と今後の観光対策は?

《知事》 県内それぞれの地域が魅力発掘に取り組み、着実に誘客が増えた。2027年のリニア中央新幹線開業を見据えて、一層の観光振興に取り組む。



愛知デスティネーションキャンペーン

女性の活躍

《Q》 女性の活躍促進プロジェクトを設置して5年。成果の検証は?

《知事》 「女性の活躍促進宣言」や「女性輝きカンパニー」が目標を大きく超えた一方、役員や管理職の女性割合は全国平均以下である。再度のアンケート調査で課題を検証する。



高校生の消費者教育

《Q》 成年年齢引き下げで、高校生の契約トラブルが心配されるが?

《知事》 高校に消費生活相談員を派遣して、実践的な授業を行う。教材「社会への扉」を活用して2020年までにすべての県立高校・特別支援学校で消費者教育を実施する。

医師確保対策

《Q》 人口当たりの医師数は全国平均を下回る。どう医師を確保していくか?

《知事》 平成18年度からドクターバンク、21年度からは地域枠医師の養成を進めるなど、勤務医が10年間で18%増えた。来年度は医師確保計画を策定する。

一般質問

交番等に勤務する警察官の安全について

かじ山義章議員(名古屋市熱田区4期)は、昨年来、他県において交番・駐在所の警察官が刃物等による攻撃を受ける事案が発生している事を受け、本県警察官の安全確保にどう取り組んでいくのか質した。

警察本部長は、地域警察官に対して防護衣の常時着

装と実践的な訓練や指導を実施するとともに、交番のレイアウトについてはカウンターの導入を加速していくとの考えを示した。



逮捕術大会の様子

その他の一般質問

西川 厚志 議員(名古屋市中川区選出4期)

駐車監視員制度と駐車許可申請制度、中京圏の高速道路料金の見直しについて

久野 哲生 議員(名古屋市中南区選出3期)

児童生徒の不登校対策、地方創生に向けた若者層の人口流入・定住促進策について

中村 すすむ 議員(豊田市選出3期)

外国人材の受入れについて

天野 正基 議員(小牧市選出3期)

障害者の雇用促進の取組、小牧市のまちづくり、本県の感染症対策について

朝倉 浩一 議員(半田市選出1期)

愛知県有料道路コンセッションについて

議案質疑

3月11日に開かれた本会議にて、シングルマザーの住宅確保支援について質問しました。シングルマザーは全国で123万世帯存在するなか、平均収入が243万円と経済的貧困が問題となっています。離婚前後に転居を余儀なくされるなか、公営住宅の供給も限られるなど、自助努力で住宅確保をしなければなりません。加えて、所得が低いため狭小住宅に依存せざるを得ず、住宅の質の向上も課題です。また、シングルマザーの自立を促すためには住居にプラスした支援、ケアをセットで提供する必要があります。

一方で今、企業の中には空き家を活用して、保育施設、就労施設と住居をセットにしてオールインワンでシングルマザーを支えていくという事例が出ています。こうした事業者が目しているのが、住宅セーフティネット制度です。平成29年10月に法が施行され、住宅確保要配慮者の入居を拒まない「住宅セーフティネット制度」が始まりました。そこで、法に基づき愛知県が現在策定している「賃貸住宅供給促進計画(案)」の主な内容について質問しました。

県からは、①計画期間の2025年度までに1万戸のセーフティネット住宅の登録を目標とする。②空き家等の有効活用をさらに促進するため、登録できる住宅の床面積の基準を緩和する。③法や省令で定められた住宅確保要配慮者の範囲を拡大(本県独自に失業者、一人親世帯、親が低額所得者の学生を加える)する。と

の回答を得ました。

これを受け、私は「登録住宅の確保が図られること、住宅確保要配慮者の範囲を拡大することは、居住の安定を図るうえでも大変良い」と計画案を評価したうえで、「シングルマザーの場合はシェアハウスで共同生活を行い、互いに助け合いながら就労環境を整備し、貧困問題を解消しようという新しい動きがでてきている」ことを紹介し、**社会情勢の変化等も踏まえ、実用性の高い住宅セーフティ制度が実現されるよう**要望しました。

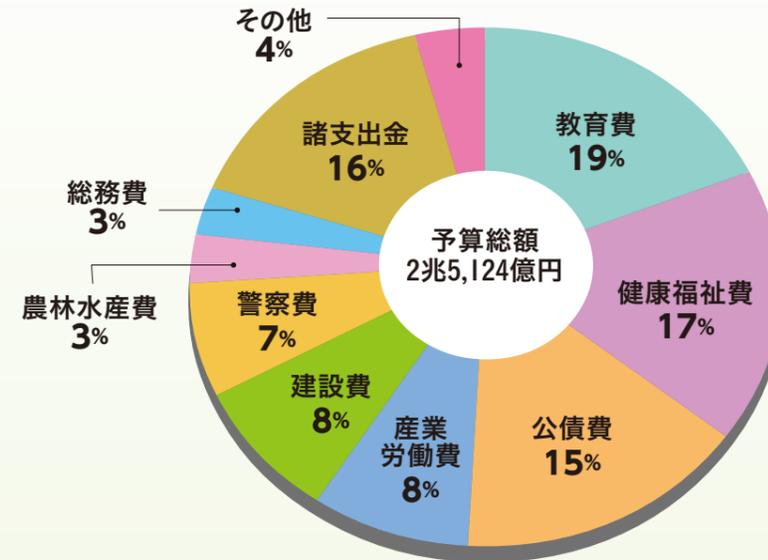


シングルマザー自立支援シェアハウスの様子



2月に開かれた全国母子シェアハウス会議に参加

2019年愛知県予算(一般会計)ポイント



Aichi Sky Expo(国際展示場)が8月30日にオープン

中部国際空港エリアに建設中の国際展示場(Aichi Sky Expo)が8月30日にオープン。展示場を運営する民間事業者から得られる運営権対価9.5億円を基金として積み立て、その基金を活用して展示場の事業安定化や新たな展示会需要の創造等を図り運営していく。既に技能五輪全国大会やワールドロボットサミット等の開催が決まっている。



Aichi Sky Expo外観イメージ

児童虐待対策充実、安心の認知症対策の実現へ

増え続ける児童虐待に対して、児童相談センター等の機能強化を進め、虐待事案への迅速な対応を進める。また、認知症に理解の深い街づくり「オレンジタウン構想」に基づき認知症の人及びその家族が安心して暮らすことのできる地域社会を実現する。

さらには、白血病で他界した故日比健太郎名古屋市長が提唱した骨髄及び末梢血管細胞移植を推進するため、骨髄提供者及び提供者が勤務する事業所に対する補助制度を創設し、骨髄提供しやすい環境をつくっていく。

「第70回全国植樹祭」を森林公園にて開催

昭和54年以来40年ぶりの本県開催。6月2日、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、「お手植え」「お手播き」や招待者による記念植樹、緑化功労者表彰などが県森林公園で行われる予定。天皇陛下が5月1日にご即位され最初の一大行事となることから、国内外から大



第70回全国植樹祭

「ジブリパーク」構想の推進

スタジオジブリから基本デザインが平成30年4月25日に提供され、12月21日には中間の整備構想の概要が発表された。5つのエリアのうち、①青春の丘エリア、②ジブリの大倉庫エリア、③どんどこ森エリアは2022年秋の開業を目指し、④もののけの里エリア、⑤魔法の谷エリアは概ねその1年後の開業を目指す。



青春の丘エリアイメージ図

© Studio Ghibli